

3都市連携フォーラム「売り込もう！佐賀の豊かさ」

にこやかに討論する3市長。左から秀島敏行・佐賀市長、吉田宏・福岡市長、植木光治・大川市長



「どう生かす広域交通網 R263ループ橋/有明海沿岸道路」

2008年フォーラム宣言

一、国道56号ループ橋、有明海沿岸道路の開通を機に、域内アクセス整備にさらに力を尽くし、相互の交流拡大を図る。

一、アジア、とりわけ中国、韓国などからの観光客を相手に、広域間観光ルートの開発と定着に努める。

一、都市と田園、それぞれの豊かさを認識し、互恵の立場から人、物、両面の協力関係を深め、両地域の発展を追求する。

一、三浦峠を挟んで佐賀と福岡を結ぶ国道56号に、新たな観光客に誘ったたくためシステムづくりが本年中に開通します。また、三月二十九日には有明海沿岸道路の一部が開通し、福岡でも都市高速道路5号線の延伸で国道56号との結節も近い。北九州の周遊コースが海まで到達する。短い時間で着々と形づくられています。さまざまな観光資源を

沿岸道路で多様な交流 植木氏

と、市内どこにでも行ける。植木 部分開通なのが羨されるきっかけになる。中国、韓国の人たちが福岡空港や博多港に降り立ち、そこから福岡のループ橋の向こうに下り、福岡さんによって国際交流も広がると思う。

観光を楽しむルートに 秀島氏

今年には佐賀の徐徳伝にちなんだ国際フォーラムが開かれます。アジアにもアピールしたいですね。

秀島 フォーラムによって佐賀がアジアの人たちに注目される。

【主催】西日本新聞社、サカテレビ

【後援】佐賀県、佐賀市、佐賀商工会議所

【協賛】九州電力佐賀支店、戸上電機製作所、松尾建設株式会社、福岡印刷(株)

交流から顧客広がる 調理法教えて販売を売れる物を作るべき

佐賀市のブランド力を高めていく。佐賀市民の市民性は、



コヒーライター 谷本 幸氏



井手野加工グループ代表 内村則子氏



大分県日田市大山町「ひびきの郷」総支配人 緒方英雄氏

末次 小麦の生産量が全国で一位、タマネギも一位。佐賀牛など肉用牛の生産量は十三位。プロローグが七位など、佐賀という小さなエリアで全国トップクラスのものがある。全園でも有名になった佐賀牛とともに、さまざまな

内村 私たちは、三浦の井手野集落にあった観光農園を、野菜を栽培し、大根を一夜漬けた販売から

何でも控えめ、もともと自信を持っていいと思う。三浦の空揚げ、佐賀牛、ミカンの「あまみつめ」など、たくさんの特産品がある。それを佐賀の「うまいもん」として売出し、全体の価値を高めた。

末次 小麦の生産量が全国で一位、タマネギも一位。佐賀牛など肉用牛の生産量は十三位。プロローグが七位など、佐賀という小さなエリアで全国トップクラスのものがある。全園でも有名になった佐賀牛とともに、さまざまな

秀島 これからは、福岡でもらう、そういうルートづくりをしたい。福岡市民にとっても良い刺激になる。

吉田 福岡都市高速道路が市にとって、いい影響があるのもささる。そうなると思えます。

安全な食紹介したい 末次氏

福岡の市場調査行 秀島氏

関係機関の協力必要 内村氏

東京にある「さかの直」で、東京と福岡ではコンパニオンが活躍している。セプトが導入された。佐賀の野菜が受け、その上にはたつぷり野菜、毎日新鮮な食材などを、毎日午後二時から五時までの間に、市場に届けて使ってもらいたい。

今年には佐賀の徐徳伝にちなんだ国際フォーラムが開かれます。アジアにもアピールしたいですね。

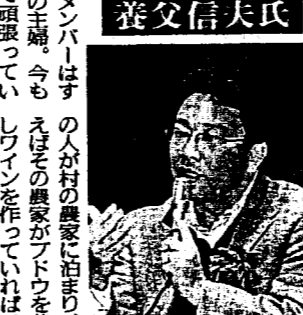
秀島 フォーラムによって佐賀がアジアの人たちに注目される。



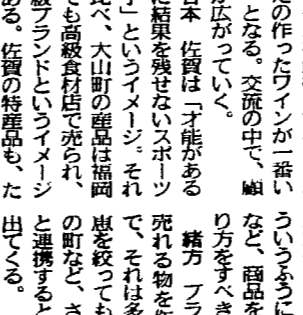
佐賀市長 秀島敏行氏



佐賀県農業協同組合専務理事 末次豊春氏



雑誌「九州のムラへ行こう」編集長 養父信夫氏



福岡市長 吉田宏氏

福岡市長 吉田宏氏

福岡市長 吉田宏氏

英知集め魅力アピールを

佐賀市と隣接する福岡市、福岡県大川市の連携と発展を促す三都市連携フォーラムが二月四日、佐賀市のメトロプラザ佐賀で開かれた。三回目となる今年のテーマは「売り込もう！佐賀の豊かさ」。地域に古くから伝わる梅酒を全国ブランドに高めた大分県日田市大山町「ひびきの郷」総支配人の緒方英雄氏の基調講演と、佐賀市の秀島敏行市長、J.A.雑誌編集長を務めるパネルディスカッション、そして三市長討論が開かれた。佐賀の特産品や観光資源をどう外に向けて発信し、また三都市を結ぶ交通網を地域経済の活性化につなげるか。佐賀を売り込むための多彩な戦略が練られたフォーラムを盛り込む。コーディネーターは藤井通彦・西日本新聞社佐賀支局長。

基調講演 大山はなせ！福岡を目指したか！

山に囲まれた大山町は四十五年ほど前、「ウメ、クリ」をスローガンに、梅干しなどの特産品で全国的に知られるようになった。外園から安い農産物が入ってきて日本の農業が破綻していくときに、あえて農業を主にした町づくりを掲げた。そのために、いかにして農業で金もうけする

多くの人のつながり大事

ウメの栽培に携わった人たちが、ウメについて語り合えるようになった。ブランドには、ある程度歴史とストーリーが必要だ。村上天皇が梅の木を元の

安全な食紹介したい 末次氏

福岡の市場調査行 秀島氏

関係機関の協力必要 内村氏

福岡市長 吉田宏氏

福岡市長 吉田宏氏

福岡市長 吉田宏氏

福岡市長 吉田宏氏